

2018
アベリスツイス大学サマースクール留学事業
報告書
(2018. 7. 30~8. 10)

与謝野町



目 次

○交流のあゆみ	
交流のあゆみ	・・・・・・・・ 1
フランク・エバンス氏と与謝野町	・・・・・・・・ 3
アベリスツイス大学と与謝野町	・・・・・・・・ 4
○アベリスツイスの紹介	・・・・・・・・ 5
○アベリスツイス大学の紹介	・・・・・・・・ 6
○2018年アベリスツイス大学サマースクール留学事業日程概要	・・・・ 7
○研修報告書	
白須 月菜	・・・・・・・・ 9

交流のあゆみ

日 程	内 容
昭和59年11月13日 ～11月 日	フランクエバンス氏が加悦町を訪問 大江山運動公園に平和を願う慰霊碑を建立（11月20日除幕式）
昭和60年6月6日 ～6月13日	細井拓一加悦町長・西原正二議会議長アベリスツイス訪問
昭和61年12月	両町の交流を記念してアベリスツイスの木「キングサリ」を大江山運動公園に植樹
昭和62年12月	フランクエバンス氏加悦町を再度訪問し両町友好の推進を誓う。
	アベリスツイス、タウンホール前に加悦町から贈った桜の木を交流の記念として植樹
平成元年3月	ウェールズ大学国際センター所長ジェフリー・ブラウン氏加悦町訪問
	ウェールズ大学アベリスツイス校への町民語学研修生派遣の道が開かれる。
平成2年6月28日 ～9月12日	ウェールズ大学アベリスツイス校に町民語学研修生2名を派遣
平成3年8月27日 ～9月20日	ウェールズ大学アベリスツイス校に町民語学研修生2名を派遣
平成4年7月1日 ～7月10日	アベリスツイス・ペンウェディグスクールの生徒2名をホームステイで12日間受け入れる。
平成5年11月3日 ～11月11日	小西英雄助役を団長に町内高校生8名がアベリスツイス訪問 ホームステイで8日間滞在
平成6年8月21日 ～9月2日	アベリスツイス・ペンウェディグスクールの生徒2名をホームステイで12日間受け入れる
平成7年10月28日 ～11月10日	町内高校生5名アベリスツイス訪問、ホームステイで10日間滞在、ロンドン3日間 両町の交流を深める。
平成8年7月8日	民間レベルの交流を推進するため、加悦アベリスツイス友好協会が設立される。
平成8年7月14日 ～7月28日	アベリスツイスペンウェディグスクールの生徒8名、教師1名を14日間受け入れる。
平成9年3月30日	外務省の招聘を受け来日したアベリスツイス在住のグウィン・デービス氏とドナルド・グリフィス氏が加悦町を訪問 旧大江山ニッケル鉱山跡や大江山運動公園の平和友好の碑を見学
平成9年10月29日 ～11月12日	町内の高校生5名が、アベリスツイスを訪問し、ホームステイで滞在した ペンウェディグスクール高校生との交流やアベリスツイスの教育・歴史・文化施設などの 見学を行い、ウェールズに対する理解を深めた
平成10年10月20日 ～10月30日	アベリスツイス高校生3名、アベリスツイス加悦友好協会会長、友好協会会員の2名が1 1日間の日程で加悦町を訪問し、ホームステイにより交流を深めた。
平成11年2月9日 ～2月15日	加悦アベリスツイス友好協会が7日間の日程で、6名の社会人訪問団を派遣
平成11年10月28日 ～11月9日	町内高校生5名を12日間の日程でアベリスツイスへ派遣
平成12年10月22日 ～11月4日	アベリスツイス高校生6名と先生1名が14日間の日程で加悦町を訪問し、ホームステイ により交流を深めた。
平成13年	アベリスツイスへの高校生訪問団派遣をアメリカ同時多発テロ事件のため中止
平成14年10月27日 ～11月8日	町内高校生5名を13日間の日程でアベリスツイスへ派遣
平成15年10月24日 ～11月5日	アベリスツイスの教師と高校生6名が13日間の日程で、ホームステイにより滞在。ホス トファミリー、高校生、町内の園児、小中学生をはじめとして町民との交流を行った。
平成16年8月	ペングライス高校の生徒1名をホームステイにより受け入れた。
平成16年10月30日 ～11月11日	町内高校生6名を13日間の日程でアベリスツイスへ派遣

交流のあゆみ

日 程	内 容
平成17年10月20日 ～11月1日	アベリスツイス高校生6名と先生1名、随同行1名が13日間の日程で、ホームステイにより交流を深めた。
平成18年10月27日 ～11月8日	太田貴美与謝野町長を団長に、町内高校生6名を13日間の日程でアベリスツイスへ派遣与謝野町としての交流を記念し、町の木「椿」の苗木を植樹
平成19年10月25日 ～11月7日	アベリスツイスの教師と高校生6名が14日間の日程で、ホームステイにより滞在。与謝野町になって初めての交流で、ホストファミリー、保育所、小中学校、見学施設など与謝野町全域に拡大し、多くの町民と交流を深めた。
平成20年10月29日 ～11月9日	町内高校生6名を12日間の日程でアベリスツイスへ派遣
平成21年10月21日 ～10月29日	アベリスツイス高校生6名と随同行2名が9日間の日程で、ホームステイによりより滞在。ホストファミリー、高校生、町内の園児、小中学生をはじめとして町民との交流を行った。
平成22年11月2日 ～11月13日	町内高校生6名を12日間の日程でアベリスツイスへ派遣
平成23年10月19日 ～10月26日	アベリスツイス高校生7名と随同行1名が9日間の日程で、ホームステイによりより滞在。ホストファミリー、高校生、町内の園児、小中学生をはじめとして町民との交流を行った。
平成24年11月3日 ～11月14日	町内高校生6名を12日間の日程でアベリスツイスへ派遣
平成25年10月25日 ～11月5日	アベリスツイス高校生5名と随同行1名が12日間の日程で、ホームステイによりより滞在。ホストファミリー、高校生、町内の園児、小中学生をはじめとして町民との交流を行った。
平成26年7月5日 ～7月16日	山添藤真与謝野町長を団長に、町内高校生6名を12日間の日程でアベリスツイスへ派遣新たな交流を目指し産業・大学研究施設を視察するとともに、地方政府や大学関係者と意見交換
平成27年2月23日	与謝野町・アベリスツイス大学間の包括協定を締結
平成27年7月24日 ～8月9日	与謝野町民3名がアベリスツイス大学サマースクール留学事業に参加
平成27年8月24日 ～9月4日	与謝野町民1名がアベリスツイス大学サマースクール留学事業に参加
平成27年11月9日 ～11月10日	アベリスツイス大学職員2名が与謝野町を視察
平成28年1月21日 ～1月30日	アベリスツイス大学から8名の学生と随行教員1名が10日間の日程で、学生はホームステイにより滞在。ホストファミリー、高校生、町内の園児、小中学生をはじめとして町民との交流、織物事業所や染色体験など町の基幹産業を見学し最終日には報告会を開催した。
平成28年8月1日 ～8月12日	与謝野町民1名がアベリスツイス大学サマースクール留学事業に参加
平成28年8月15日 ～9月9日	与謝野町民2名がアベリスツイス大学サマースクール留学事業に参加
平成29年1月26日 ～2月4日	アベリスツイス大学から8名の学生と随行教員1名が10日間の日程で、学生はホームステイにより滞在。ホストファミリー、高校生、町内の園児、小中学生をはじめとして町民との交流、織物事業所や染色体験など町の基幹産業を見学し最終日には報告会を開催した。
平成30年1月26日 ～2月5日	アベリスツイス大学から5名の学生と随行教員1名が11日間の日程で、学生はホームステイにより滞在。ホストファミリー、町内の園児、小学生をはじめとして町民との交流、染色体験など町の基幹産業を見学し最終日には報告会を開催した。
平成30年2月16日 ～2月25日	アベリスツイス高校生6名と随行2名が10日間の日程で、ホームステイによりより滞在。ホストファミリー、高校生、町内の園児、小学生をはじめとして町民との交流を行った。
平成30年7月30日 ～8月10日	与謝野町民1名がアベリスツイス大学サマースクール留学事業に参加

フランク・エバンス氏と与謝野町

—フランク・エバンス (Frank Evans) —

1917年5月23日、Cribyn Lampeter (ウェールズ) に生まれ、第2次世界大戦中、軍人として香港で兵役に就いていた1941年、日本軍の捕虜となり、1943年に日本に送られ、鉱山での労働を強いられました。1945年、終戦と同時に帰国、40年が過ぎた1981年、香港を訪れた帰国時の飛行機内で日本人女性鬼頭さんと知り合い、鬼頭さんの力を借りながら、ついに京都大江山のニッケル鉱山跡にたどりつく。

晩年は、旧加悦町とアベリスツイスの交流推進に力を注ぎ、多くの人から愛され親しまれました。



1996年11月6日逝去。享年79歳。

—メッセージ—

著書「ROOL CALL AT OEYAMA」大江山の点呼

Sakura Peace Message By Frank Evans

(桜の平和メッセージ フランク・エバンス)

Consider our blossoms which are beautiful in life and death. Never again let us and human beings die in an ugly holocaust but, Instead, allow us all to live and die naturally in perfect peace for ever more.

(咲いているときも、散った後も美しい桜。二度と再び人間が、無残に命を失うことのないように。そして全ての人間が平和の内に生をまっとうできますように。)

—交流のきっかけ—

旧加悦町とアベリスツイスの交流は、第二次世界大戦時に旧大江山ニッケル鉱山での戦争捕虜体験を持つ故フランク・エバンス氏が、鉱山で死んだ戦友の記念碑の除幕式のために、昭和59年に加悦町を訪問したのをきっかけに始まりました。故フランク・エバンス氏は、加悦町との交流の推進に取組み、友好の絆を結ぶ礎を築きました。

—高校生相互派遣交流からアベリスツイス大学との連携へ—

平成4年から、友好の架け橋として未来ある高校生の相互派遣交流を進め毎年度受け入れと派遣を行い、年々交流が深まっています。

与謝野町とアベリスツイスの高校生交流は、双方の友好協会などの交流事業関係者が参加をし、ホームステイや体験を通じてお互いの国の歴史・文化・生活・習慣などを理解することができる貴重な機会となり、両町の交流推進の大きな柱となっています。今サマースクール事業はこの高校生相互派遣交流事業がきっかけとなり実現しました。

アベリスツイス大学と与謝野町

—アベリスツイス大学—



アベリスツイス大学は英国ウェールズのアベリスツイスに位置する大学で、1872年にウェールズ大学アベリスツイス校として設立されました。現在では芸術、社会科学及び化学のアベリスツイス大学の主要学部だけでも7,500人以上の学生が在籍しています。

—交流のきっかけ—

平成26年7月に山添藤真与謝野町長が高校生相互交流派遣事業の参加者と共にアベリスツイスを訪れ、与謝野町とアベリスツイス大学の連携についてアベリスツイス大学関係者と話し合いました。アベリスツイス大学関係者は故フランク・エバンス氏がもたらした与謝野町とアベリスツイスの20年以上にも及ぶ高校生相互派遣事業に感銘を受け、フランク・エバンス奨学金の設立及びその他連携協定の締結を提案しました。アベリスツイス大学と与謝野町は帰国後も事務協議を続け、平成26年3月には包括協定を締結し、平成27年9月には連携事業を決定しました。



—アベリスツイス大学サマースクール留学事業—

英国ウェールズのアベリスツイス大学（Aberystwyth University）で開講されるサマースクール（English and Communicative Skills Course）は、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指すプログラムで、教室での少人数（最大16人）による授業に加え、キャンパス外での社会的プログラム（Social Interest）も含まれています。与謝野町とアベリスツイス大学間で締結された協定書により、与謝野町からの参加者は授業料が15%減免となります。4年目の派遣となる平成30年度の募集は下記4コースからの選択でした。

コース	日程	受講料（割引後）
CS2	7月16日（月）～ 7月27日（金）	425ポンド
CS3	7月30日（月）～ 8月10日（金）	425ポンド
CS4	8月13日（月）～ 8月24日（金）	425ポンド
CS5	8月28日（火）～ 9月7日（金）	425ポンド

※8月27日（月）は英国の祝日のため授業はありません。

—アベリスツイス (Aberystwyth) —

イギリスのロンドンから西へ列車で約6時間のカーディガン湾に面した人口約12,000人の町です。

主な産業は農業(牧畜)、商業、観光業で、ウェールズ大学アベリスツイス校、国立図書館など文教施設があることから学生が多く、世界各国からの留学生も多いところです。

レンガ造りの家並みと田園、美しい海岸が印象的な美しい町で、観光地として人気が高く、夏は避暑を楽しむ多くの観光客で賑わいます。

ウェールズの歴史と文化を誇りにし、ウェールズ語を多くの人が話し、町のサインも英語とウェールズ語が併記してあります。陽気で歌の好きな親切な人々が多いです



—アベリスツイス大学 (Aberystwyth University) —

アベリスツイスの町の北東部に位置します。

学部での勉強だけでなく、毎年開講しているサマースクールにも世界各国から留学生が英語を学びに来ており、他国からの留学生とも交流できます。

また、学内には学生寮、図書館、スポーツセンター、アートセンターなどが併設されています。



アベリスツイス大学サマースクール事業日程概要
(2018. 7. 30～8. 10)

月 日	事 項	内 容
5月9日	水 募集開始	広報よさのお知らせ版、与謝野町ホームページ、文字放送、データ放送にて順次募集
7月26日	木 与謝野町を出発	
7月27日	金 関西国際空港から仁川国際空港へ 仁川国際空港からCharles de Gaulle空港へ	in Paris
7月28日	土 Charles de Gaulle空港からBirmingham空港へ Birmingham空港から電車でAberystwythへ Aberystwyth到着	Aberystwyth Universityの学生寮へ入寮
7月29日	日 自由行動	
7月30日 ～ 8月10日	月 ～ 金	Summer School
8月11日	土 学生寮を退寮 Aberystwyth駅から電車でBirmingham空港へ	
8月12日	日 Birmingham空港からCharles de Gaulle空港へ	in Paris
8月13日	月 Charles de Gaulle空港から仁川国際空港へ	in Seoul (飛行機遅延のため一泊)
8月14日	火 仁川国際空港から関西国際空港へ 与謝野町に帰着	

サマースクール時間割 (2018. 7. 30~2018. 8. 10)

Timetable: General English: Summer 2018 CS3 Week 2 6 Aug - 10 Aug Theme for CS3: The Arts - film, theatre, TV, music & books				
	9.00 ~ 10:30	11.00 ~ 12:30	2.00~ 4:30	Social Program
Monday	Weekend round up & journal writing/share Speaking/Listening focus Blue - Morven - B22 Llandinam Green - Gosia - A9 HO Red - Hanni - C65 Llandinam Purple - Yvonne - B21b HO Orange - Clare - B20 Llandinam Turquoise - Zoe - B21a HO Scarlet - Paul - G3 Llandinam	Course book or targeted language materials and activities Blue - Morven - B22 Llandinam Green - Gosia - A9 HO Red - Hanni - C65 Llandinam Purple - Yvonne - B21b HO Orange - Clare - B20 Llandinam Turquoise - Zoe - B21a HO Scarlet - Paul - G3 Llandinam	Optional - in CS HO Speaking and listening with Pre-sessional students This week's guest speaker is Mr. Jamie Terrill from the Dept. of Theatre, Film & TV. Lecture title: Film History Special Interest Class Meet your teachers in the Think Tank 1.50pm	British Movie Night Meet at Campus Reception
Tuesday	Course book or targeted language materials and activities - Reading focus Blue - Morven - B22 Llandinam Green - Gosia - A9 HO Red - Hanni - C65 Llandinam Purple - Yvonne - B21b HO Orange - Clare - B20 Llandinam Turquoise - Zoe - B21a HO Scarlet - Paul - G3 Llandinam	Integrated skills lesson Speaking/Listening focus Blue - Morven - B22 Llandinam Green - Gosia - A9 HO Red - Hanni - C65 Llandinam Purple - Yvonne - B21b HO Orange - Clare - B20 Llandinam Turquoise - Zoe - B21a HO Scarlet - Paul - G3 Llandinam	Special Interest Class Meet your teachers in the Think Tank 1.50pm NB Serious Walking Group meeting Hanni in the Think Tank at 1pm (bring a picnic)	
Wednesday	Course book or targeted language materials and activities - speaking/pron focus Blue - Paul - B22 Llandinam Green - Morven - A9 HO Red - Yvonne - C65 Llandinam Purple - Hanni - B21b HO Orange - Zoe - B20 Llandinam Turquoise - Clare - B21a HO Scarlet - Gosia - G3 Llandinam	BREAK	LUNCH	Llanerchaeron Stately Home Farm and Garden Meet Campus Reception
Thursday	Course book or targeted language materials and activities Blue - Paul - B22 Llandinam Green - Morven - A9 HO Red - Yvonne - C65 Llandinam Purple - Hanni - B21b HO Orange - Zoe - B20 Llandinam Turquoise - Clare - B21a HO Scarlet - Gosia - G3 Llandinam	Communicative Project Work Blue - Paul - B22 Llandinam Green - Morven - A9 HO Red - Yvonne - C65 Llandinam Purple - Hanni - B21b HO Orange - Zoe - B20 Llandinam Turquoise - Clare - B21a HO Scarlet - Gosia - G3 Llandinam	Special Interest Class Meet your teachers in the Think Tank 1.50pm	Social Programme International Dinner
Friday	Course book or targeted language materials and activities - Speaking focus Blue - Morven - B22 Llandinam Green - Gosia - A9 HO Red - Hanni - C65 Llandinam Purple - Yvonne - B21b HO Orange - Clare - B20 Llandinam Turquoise - Zoe - B21a HO Scarlet - Paul - G3 Llandinam	Integrated skills lesson & Leaving Ceremony Blue - Morven - B22 Llandinam Green - Gosia - A9 HO Red - Hanni - C65 Llandinam Purple - Yvonne - B21b HO Orange - Clare - B20 Llandinam Turquoise - Zoe - B21a HO Scarlet - Paul - G3 Llandinam	Free for project work or self-access study	Saturday Trip Cheshire Oaks Designer Outlet Meet at Campus Reception

アベリストゥイス大学サマースクール報告書

日程 7月27日～8月15日 (授業期間 7月30日～8月10日)



目的

自身の英語力を確かめ、更に向上させる。

日本とは違った文化や習慣に日常的に触れ、自身の視野を広げる。

短期間ではあるが、国際感覚を身に付ける。

アベリストゥイスまでの移動

私は、仁川、パリを経由し、バーミンガムへ向かいました。バーミンガム空港からアベリストゥイスまでは電車で3時間です。4両編成ですが途中シュールズベリーで分離し、2両になります。



授業

授業初日の朝、サマースクール参加者はキャンパスレセプションに集合し、互いに顔合わせをしました。参加者は、スペイン、フランス、アルゼンチン、シリア、中国、韓国などの世界各国から来ていました。私が参加した期間は、ほとんどが中国からの生徒たちでした。与謝野町からの参加者は私一人と聞いており、他大から参加している日本人がきつというと思っていましたが、なんと参加者約80人のなか、日本人は私一人だけでした。

顔合わせ後、皆とキャンパスツアーに行きました。キャンパスツアーが終わると、講義室に全員集合し、先生方の自己紹介とクラス分けに反映される約40分間の英語のテストがありました。基本的な英文法から難易度が高い語彙力までが問われるテストと英作文でした。

初日の午後6時からウェルカムパーティーがありました。仲良くなった友達と会話やゲームをしました。

翌日から本格的な授業が始まりました。クラス分けテストで振り分けされたクラスに行きました。私のクラスには韓国人1人、中国人8人、日本人1人でした。担任の先生はポーランド出身のゴーシャ先生とイギリス出身のムーヴェン先生でした。

1コマ90分で日本の大学と同じです。1時間目9時～10時半、その後30分間の休憩があり2時間目11時～12時半。ランチタイムを含む昼休憩が14時までであり14時からは授業かソーシャルスタディ。金曜日の午後はフリーです。

〈タイムテーブル〉



〈教室〉



授業内容は英語でのコミュニケーションが多く含まれるもので、先生から何か問われると、発言を必ずしなければなりません。何枚かの写真を見せられ、ペアと協力して一つのストーリーを作ったり、先生が読み上げる英文をリスニングし、スペルミスなく紙に書いたりしました。

他にもアウシュビッツについてグループでディスカッションし、知識を深めたり、撮ってきた写真についてスピーチしたりしました。最初の1週間は読む、書く、聞く、話すことを主とした教室での授業がほとんどでしたが、2週目は普通の授業以外に、5人で1グル

ープになり、ムービーを作る授業が組み込まれ、とても楽しかったです。

私たちが制作したムービーの URL [〈https://youtu.be/1HSuMNBj_CM〉](https://youtu.be/1HSuMNBj_CM)

〈ムービー制作の様子〉



ソーシャルスタディ

これは週に 2 回午後に行われる課外授業です。5 つのオプションから 2 つ、自分が参加したいプログラムを選択します。私はハイキング、ミュージアムとアベリストウイスを一望できる丘に行きました。

〈ハイキング〉

かなり疲れましたが景色はとてもきれいでした。



〈ミュージアム〉

アベリストウイスの中心街の中にあるミュージアムです。歴史あるものがたくさん展示してあり、アベリストウイスの歴史を学ぶことができました。



〈the cliff railway〉

ケーブルカーで頂上まで登りました。少し寒かったですがとてもきれいでした



サタデートリップ

毎週土曜日に、希望すれば日帰り旅行に参加できます。私はウェールズの首都カーディフに行きました。アベリストゥイスからバスで約3時間。共用語は英語ですが、約10%の人がウェールズ語を話します。私は仲良くなった友達と買い物と街を散策しました。



休日

日曜日は1日中休みでした。私が以前、家に受け入れしていたベッカに会いました。1年半ぶりの再会で、とてもうれしく思いました。ベッカとマリーナに行き、その後、ベンチに座ってお話をしました。



仲良くなったミランダとも出かけました。一緒にフィッシュアンドチップスを食べて、旧アベリストゥイス大学に行きました。私は彼女に中国についてたくさん教えてもらい、私の方からも日本のことについて教えてあげました。



食事

昼食は最初の一週間は大学の食堂で食べました。一食 4.95£ (約 700 円)。たくさん食べる人はもっとかかると思います。美味しかったのですが、少し高いので、二週間目は節約のため寮に帰って自炊しました。



夕食はスーパーで買ってきた食材を使って、自炊をしました。日本から調味料を持参していたのでとても便利でした。現地で調味料は手に入りますが、日本のものは売っていたとしても味がイマイチなのと値段が高いです。



時々、中国人留学生と一緒に夕食を食べました。中国料理を振舞ってくれたので、私は彼らのために日本のお菓子を渡したり、握り寿司を作っていました。



部屋

部屋には、1人1つずつシャワー室、トイレ、洗面台が付いていますが、ドライヤーは付いていないので持参する必要があります。寮はとても綺麗で1フロア7人でした。キッチンも7人でシェアしました。



ランドリー

洗濯は寮の近くにあるランドリーでした。乾燥も含めて一回約5 £。デポジットカードを販売機で買ってから洗濯します。洗剤と柔軟剤は自分で買って洗濯しました。



留学を終えて

日本人が一人だったのと、他の留学生はみんな大学生だったので最初はとても不安でした。しかし、皆、食事に誘ってくれたり、妹のようにかわいがって、仲良くしてくれました。毎日が楽しく、ホームシックになったりすることは決してなかったです。唯一の日本人だったので日本のことについて教えてあげる機会が多かったです。日本のことについてもっと知っておくべきだと思いました。

日本語を全く使わない英語だけの生活だったので、留学後、特にコミュニケーションにおいては英語力の向上を実感しました。最初は私の担当が話す英語を時々聞き取ることができませんでしたが、徐々に慣れていって二週間目には、ほぼ聞き取れるようになりました。先生によって全然アクセントが違うので、耳を上手く使い分けるのは大変でしたが、様々なアクセントを聞くことで、とても勉強になりました。先生方は私たちがうまく聞き取れるようになるべく標準的な英語を話してくれていましたが、街中の人たちの英語は訛りがきつい人が多く、何度も sorry? sorry? と、聞き返すことがありました。

参加した時、私は 17 歳だったので、大学側から門限など、許可がすべて下りませんでした。しかし、17 歳だった分、大学側が全てフォローしてくれたので助かりました。

サマースクールではただ授業を受けて勉強するだけではなく、様々な文化的背景を持つ方々と交流する機会を得られたり、イギリスの色々な面を見ることもできました。たった 2 週間でしたが、とても充実した留学生活でした。

与謝野町との交流を通して受け入れた 3 人の留学生からアベリストウイスのことについてたくさん教えてもらって、興味を持ち、必ず訪れたいと思っていたアベリストウイスに行くことができ本当に良かったです。

これからもアベリストウイスとの交流には積極的に関わりたいです。留学を支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。



2018年アベリスツイス大学サマースクール留学事業研修報告書

平成30年9月発行

編集発行 京都府与謝郡与謝野町字岩滝1798番地1

与謝野町観光交流課

電話：0772-43-9016

